

## 珊瑚樹記念堂（本校の周辺史跡紹介） 4

# 大久保利通銅像



本校に掲示されている写真

大久保利通銅像は、没後100年を記念して昭和54年高見橋横の甲突河畔に建立されました。鹿児島中央駅から天文館に至る大通り沿いにあり車や路面電車からも見ることができます。

高さは9.7m（像のみ4.3m）、制作者は中村晋也氏、題字は当時の知事鎌田要人氏のものです。

隣は入口にライオン像が置かれた公園です。春、秋に木市が開かれ、市民の憩いの場所となっています。



裏側から



正面右から

正面左側は生垣になっており、左側からは上半身しか見えません。

銅像の前に設置された案内板  
 (案内文は次のページをご覧ください)



大久保利通年譜	
薩摩藩財政改革に着手	1827(文政10) 1830(天保 元)
	誕生
	1846(弘化 3)
	1850(嘉永 3)
	記録所書役助として出仕 お由羅騒動により罷免 (父は喜界島へ遠島)
島津斉彬第28代藩主に ペリー浦賢に来航	1851(嘉永 4) 1853(嘉永 6) 1857(安政 4)
	謹慎を解かれて蔵役へ昇進 御徒目付となる
日米修好通商条約 斉彬急死 安政の大獄	1858(安政 5)
	1861(文久 元)
薩英戦争	1863(文久 3)
	御小納戸役となる 御側役となる 薩英戦争に参加する
大政奉還	1867(慶応 3)
	王政復古、新政府の樹立に 活躍
	1869(明治 2)
	1870(明治 3)
廃藩置県	1871(明治 4)
	参議となる 民部省御用掛となる 大蔵卿となる 欧米視察に出発
	1873(明治 6)
	1874(明治 7)
	帰国 参議となる 内務卿を兼ね、殖産興業に 尽くす
不平士族の反乱相次ぐ 西南戦争	1875(明治 8) 1877(明治10) 1878(明治11)
	佐賀の乱を鎮定 北京会談で全権弁理大臣と して台湾問題を解決
	地租改正事務局総裁となる
	5月東京紀尾井坂で暗殺さ れる(47歳)

案内板中央にある大久保利通年譜

## 大久保利通銅像の案内板（鹿児島市観光課作成）の本文

としみち  
大久保利通銅像

い せい せい めい  
為 政 清 明

－ 幕藩意識を超えて新生日本の近代化に尽くす －

大久保利通は明治草創期の指導的政治家です。1830年(天保元)に生まれ、幼名は正 袈裟、通称は一蔵、号を甲 東と称しました。幕末期、薩摩藩下級武士のリーダーとして藩論を尊皇にまとめる一方、最後の藩主島津忠 義の父久 光の信頼をえて、藩政の改革にも手腕をふるいました。

薩英戦争後はイギリスとの講和をまとめ開国に目覚めるとともに、沖 永良部から西郷隆盛を呼び戻し、歴史的な名コンビとして倒幕に奔走。薩長同盟の締結をみて、ついに1867年(慶応3)明治維新が達成されたのです。

新政府樹立後は政界の中心人物として、版 籍 奉 還、廃 藩 置 県の実現につとめ、大 蔵 卿 時代は地租改正の建議を行いました。また、欧米諸国を視察し、帰国後は内務省を設立し事実上の首相ともいうべき内務卿を兼務しました。

ところがこの頃から西郷隆盛と対立、西南戦争によって竹馬の友を失ったのです。その大久保もまた、1878年(明治11)出勤途中を襲われ急死。ロンドンタイムスは、「氏の死は日本全国不幸である」と報じました。

Statue of Okubo Toshimichi

### STATESMEN SHOULD BE OF PURE HEART

・ ・ ・ modernization without clannism ・ ・ ・

Okubo Toshimichi was one of the leading figures of early Meiji politics. Born in 1830, he was called Shokesa when he was a boy, and later also known by the names Ichizo and Koto. During the last days of the Shogunate, Okubo encouraged public sentiment towards the Emperor. Though a low-grade samurai, he received much recognition from Shimadzu Hisamitsu, father of Tadayoshi, the last lord of Satsuma, and he showed great skill in reforming the administration of the clan.

After the battle with British ships in Kinko Bay, it was Okubo who negotiated peace and thus brought Japan's period of isolation to an end. He called Saigo Takamori back from Okinoerabu and together they negotiated the secret alliance between Satsuma and Choshu, overthrew the Shogunate and brought about the Imperial Restoration of 1867.

After the inauguration of the new government, he worked for the return of land and people from their feudal lords to the Emperor, the abolition of the clans and the establishment of prefectures, and as Minister of Finance he revised land taxes. After returning from the US, he established the Home Office and as Home Secretary was for a while the most powerful man in the government.

Finally he fell out with his old friend Saigo, who then committed suicide during the Seinan Civil War. Then, in 1878, on his way to work, Okubo himself was assassinated. The London Times reported that "His death was a great misfortune for the whole of Japan."



左写真：像の裏側に回って大久保公の足下を見ると小さなこんな像を見ることができます。この像の主は大久保暗殺の際に一緒に殺されてしまった馬車夫と馬の像だということです。大久保公の部下を思いやる気持ちをあらわしたものだそうです。



像の裏側にある碑文

大久保利通は 幕末動乱の際  
西郷隆盛と共に討幕運動の中心となつて 王政復古を実現 ついで  
新政府に入り 版籍奉還 廃藩置県  
を断行 欧米巡遊の後 参議内務  
卿として 地租改正 殖産興業施策  
等を推進 近代日本の基礎を確立  
した  
新生日本の激動時代に 進んで  
難局に当たつた たじろがず 事を  
処するに公平清廉で「為政清明」  
の語はよくその信念を物語る  
昭和五十四年九月二十一日  
大久保甲東百周年記念顕彰会  
題字 鎌田要人  
制作 中村晋也

像の正面左にある「為政清明」の碑



「為政清明」碑の裏側にある碑文



内務省は明治六年大久保利通公  
によって創設せられ 内政の確立  
に寄与するところ多大であつた  
内務省の後輩をもつて組織する  
大霞会は 公の遺徳を偲んでこの  
碑を建立する